



【事例1】印旛郡栄町：みどりネット請方環境保全会

1. 組織の概要

認定(協定締結)年度	認定面積(ha)	構成員	集落数
平成27年度	239ha (田:239ha)	農業者138名、 農業者以外1名	6

2. 地区の概要

みどりネット請方環境保全会は、千葉県の北部に位置し、成田空港からは10kmの距離にあり、利根川の豊かな水に恵まれた稲作を中心とした6つの地区で構成されています。昭和60年から平成5年にかけて基盤整備も行われ、大型機械も導入できる耕作しやすい環境です。



3. 組織運営について



活動組織は「請方土地改良区」の組合員で構成されています。改良区が中心となることで地元がまとまり、スムーズに組織運営ができています。

役員が集まる会議は、年4回ほど開催され、活動計画に沿って詳細を決めます。

また、地元の負担となる書類作成を改良区が引き受けているので、**安定的な活動**ができています。

4. 主な活動について

(1) 草刈り作業

みどりネット請方環境保全会は、認定区域内の草刈り作業を年3回行っています。

6地区に分かれ、それぞれ地区役員が付きます。6～8月と暑い中の作業ですが、日曜日に開催することで、若い構成員の参加も増え、地域のコミュニケーション作りにも一役買っています。

また、構成員一人一人が、地域を除草することで、環境に関心を持ち、日頃から周辺の美化に取り組むようになりました。



(2) 農道の路面維持

農道の路面補修は、稲刈りが始まる前を見計らって、重機をリースして行っています。事前に地区内の農道を点検し、構成員の声を聴きながら、補修箇所を決めます。

十数名単位で、重機で均した敷砂利を、もう一度人の手で均していきます。この作業をすることで、刈り取った稲を安定して運ぶことが出来るようになりました。



(3) 水路の除草・泥上げ

水路内のつるや草の種が田に流れ込むのを防ぐため、毎年農閑期に水路の除草をしています。また、オペレーター付きの重機を借り入れ、水位の低い冬季に水路の泥上げを行います。



5. 今後の活動について

多面的機能支払交付金の活動を始めて5年が過ぎようとしています。この活動を通して、地域農業者の環境に対する意識が高まりました。

地域の農業者が一体となり、互いに協力して農業環境をさらによくしていくためにも、土地改良区と協力し、よりよい活動をしていければと思います。

